



生ある者よ 限りなく伸びよ

齋藤昌武

(1) 地上の輝き
生あるもの限りなく伸びよ
小雨の降る日百姓が働いてゐる
然も本気でうれしそに
側でかへるが大きく鳴く
自然は唯これらをつつと
働くことより人間には勝
がない
静い、清い、純な人間に
生あるものよようこびに
満す
天気のよい日に遊ぼう
然も又何時か働けぬ
側で友人が待つてゐる
宇宙の中に抱擁して
働いた後の瞬間の遊び
尊くうれしく限らない

(2) 労働尊重
土に生れて土に親む
鎌もて人生の妙を描む
只是れ一念子真情の人
よく考へよく働く人
よく思ふまじく生きる

(3) 家庭和樂
家はどい所なし
而も離れば離るほど
遠くなればなるほど
愛も老へる母も老へる
むれど美の愛和樂の愛
永久に咲いて花となれ

(4) 純真
口先で仕事は出来ぬ
最後の勝利は働く人であ
る
労働を創造せよ
人を敬むに満しよ
男らしく強實にならば
ならぬ

一年後
先ずかれは、彼女に破れ
ての前後は、彼が身を離
れ、追ひ追つた放浪の大
阪より彼女に寄せたこと
をおもふ
「お前故の自暴だとはわ
けは決して云はない、今は
ははははと笑つてゐる

明日 六月 七月
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九

明日 六月 七月
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九

明日 六月 七月
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九

明日 六月 七月
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九

明日 六月 七月
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九

明日 六月 七月
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九

明日 六月 七月
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九
吉 凶 三 九

只今もまして長野の権堂き連れ合ひを得たらは活計
と云ふところは藤枝屋町、秋樂心の備に暮らされたら
長野市に於ける柳暗花暈のうちに、よき縁に繋がつ
巻、其の頃は遊廊がわたり見てもいびきき斯様な家
りにややかな場所、た玉の死を探る、許して呉れた
内職は却々繁昌で弟子が玉——死顔に向つて誰か
深山あるが、舊幕の頃は百を云ふ位、左れど夫れは陰
姓町人にて教育はなほ若き事、近所のものに脚ま
であつた、只今のおぼり方されて、死骸はたび一片の
などは夢に思はぬ程で煙に附したが、扱て肝腎の
却つて學問が出来れば福ひなほ活計のくまひを握つて
意見の通り日居するは伸
びの基と知れ九紫の八
張り合ひよ事業の進み行
く日但し飲食注意

却て負ひとなる六六の八
氣を焦る時は極端の變化
生して悔のり七亦の人
懸崖の絶頂に躍るが如き危
険の伴ひ易き日八八の八
意見の通り日居するは伸
びの基と知れ九紫の八
張り合ひよ事業の進み行
く日但し飲食注意

赤鞘安兵衛
東 桃川 二演
村田月光 演

赤鞘安兵衛
東 桃川 二演
村田月光 演



比無醇芳
雪の馬白
醸吟一徳本松
二五七話電平

吉田眼科病院
平町紺屋町

貸切は
磐城タクシー
電話四五四番
平驛前

松村村松
内 科 外 科
皮膚科 泌尿科
婦人科 専門部
夜間診療

耳鼻咽喉科専門
鈴木正男
日本歯科大学
鈴木正男
日本歯科大学

鈴木醫院
鈴木正男
日本歯科大学
鈴木正男

柳川
相始めました
御一人前三十五銭

石川亭
平田町 電話四三

木村病院
電話一六四
木村寅次郎
木村コウ

サロンの
清楚な食堂
電話三五二

藤沼醫院
電話五〇七番

スツボン酒
スツボン酒
スツボン酒

山野邊藥局
電話四三

開業廣告
元警察署刑事係部長
青田保太

生花教授
須藤まつ子
電話三四三

川井内科診療所
電話七二二番

